

市町村の新たな森林管理の推進と 森林資源の活用に向けて

1 徳島県の現状

徳島県の森林面積は、約315千ha（総土地面積の75.5%）で、民有林人工林面積は約190千haです。また、スギ・ヒノキ人工林のうち、75%は10歳級以上で利用期を迎えています。この豊かな森林資源を核とした地方創生を目指し、令和元年度より「スマート林業プロジェクト」を展開し、「担い手の育成」や「高性能林業機械の導入」などにより、令和10年度の「県産材生産量70万m³」の達成に向け取り組んでいます。

2 森林環境譲与税の主な取組

徳島県では、県に譲与されている森林環境譲与税を活用して、市町村における事業実施の支援に加え、人材の育成・確保や木材利用の促進を

森林資源の活用に向けて

中心に、幅広い事業を展開しています。今回はその一例を紹介いたします。

① 令和3年度譲与額：117,953千円

② 森林経営管理制度の推進に向けた市町村への支援（令和3年度決算見込額）：16,142千円



写真1 とくしま森林経営管理協議会

令和元年度からスタートした森林経営管理制度は、市町村が主体となつて森林の管理を行う新たな制度であることから、森林環境譲与税を活用して、市町村が円滑に制度を運用するための支援を行っています。

その一環として、制度の運用開始に備えて、平成30年5月に、県内24市町村と徳島県、徳島森林づくり推進機構など関係機関で構成する「とくしま森林経営管理協議会」を設置しました。同協議会では、林野庁の担当を招いた森林経営管理制度や森林環境譲与税に関する情報伝達や、市町村担当者による森林環境譲与税の活用事例報告などの情報共有に取り組んでいます。

また、市町村が森林経営管理制度や森林環境譲与税を活用して経営管理を行う森林は、施業の進んでいない条件が不利な森林を対象とするた

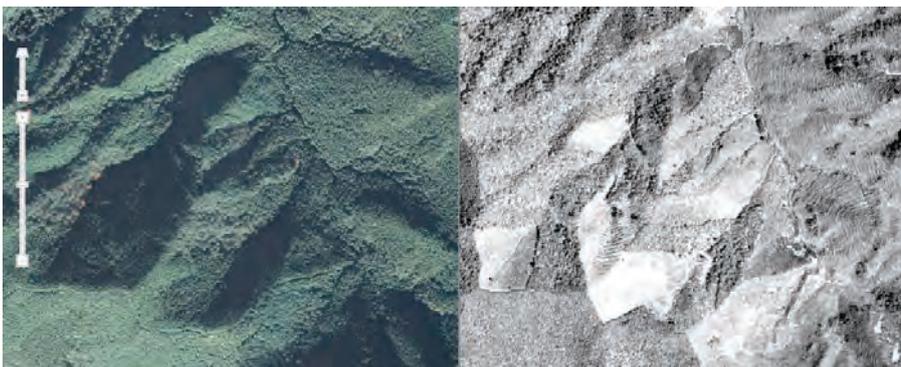


写真2 徳島森林情報管理システム（森林GIS） H21（左）、S40年代（右）

め、対象地区を選定する基礎資料として活用できるよう、県が保有する森林情報管理システムの改良や、過去の施業履歴データ等を市町村に提供しました。

さらに、市町村が施業を行う森林の境界の明確化を進められるよう、植栽当時の状況から森林の境界を推定することが可能な過去の航空写真データを整備して、提供しました。



写真3 とくしま林業アカデミー（伐倒理論実習）

② 林業の担い手育成・確保（令和3年度決算見込額…59,588千円）

「即戦力」となる若手林業就業者を養成するため、平成28年度に、「とくしま林業アカデミー」を設立しました（公益社団法人徳島森林づくり推進機構が運営）。徳島県は、森林環境譲与税を活用して、同アカデミーの運営経費（研修に必要な林業機械のリース代等）への補助を行っています。

これまで、83名の卒業生全員が県内林業事業体へ就職しました。卒業生の求人倍率は3倍を超え、業界からの要望も高いことから、令和5年度・第八期研修生の募集に当たって

は、定員をこれまでの20名から30名に拡大しています。

また、「職業としての林業」を意識付けるため、小中高生を対象とした出前授業や林業体験の実施、UI-Jターン者の人材確保を図るための相談窓口の設置に加え、林業体験イベント等の実施、タウン誌・SNS等による林業就業に関する広報も実施しました。

③ 県産材の利用の促進（令和3年度決算見込額…42,224千円）

令和3年10月24日に、都道府県立では全国初となる「徳島木のおもちゃ美術館」がオープンしました。同美術館は、赤ちゃんから高齢者まであらゆる世代の方が集い、森林の役割や重要性、木材の良さなどを「遊び」「学び」「体験」できる「新たな木育拠点」で、「木の香りや温もり」を体感しながら、大いに楽しめる「体験型施設」です。徳島県では、木材の利用や普及啓発の観点から、その整備費の一部に森林環境譲与税を活用しています。

また、県産材の建築資材としての利用拡大を図るため、県木材認証機構による認証県産材を用いて新築改修される建築物において、のぼり旗



写真4 林業体験の実施状況



写真5 徳島木のおもちゃ美術館（外観）

設置や現場見学会の開催を通じ、木材の良さについて一般の方へ普及啓発を行った場合に、木材使用量に

じた工務店等への助成を行いました（10㎡以上15㎡未満20万円等。令和3年度は7件に助成）。



写真6 徳島木のおもちゃ美術館（内観）



3 おわりに

令和6年度から、一人当たり1,000円の森林環境税の徴収が始まることから、今後、森林環境譲与税の用途に対する関心は、一層高まるものと思われれます。このため、県はもとより、市町村と連携しながら、森林環境譲与税の円滑な活用により、しっかりと取り組んでまいります。